

## 職員の給与の支給に関する規則の一部改正について

平成28年 3 月 25 日 提出      岩手県人事委員会   委員長      熊谷   隆司

---

### 第 1    趣旨

一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正に伴い、管理職員特別勤務手当の支給対象に平日深夜の勤務が追加されることから、当該手当の支給のために記録する、管理職員特別勤務実績簿及び管理職員特別勤務手当整理簿の様式を改正するものである。

### 第 2    規則案の内容

- (1)    管理職員特別勤務実績簿について、勤務年月日の週休日等と週休日等以外の日の別及び勤務をすることが必要であった理由を記載する欄を加えること。（様式第20関係）
- (2)    管理職員特別勤務手当整理簿について、平日深夜の勤務に係る区分を追加すること。（様式第21関係）

### 第 3    施行期日（附則関係）

平成28年 4 月 1 日から施行する。

職員の給与の支給に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成28年 3 月 日

岩手県人事委員会  
委員長 熊 谷 隆 司

岩手県人事委員会規則第 号

職員の給与の支給に関する規則の一部を改正する規則

職員の給与の支給に関する規則（昭和38年岩手県人事委員会規則第20号）の一部を次のように改正する。

様式第20及び様式第21を次のように改める。

様式第20（第22条関係）

管理職員特別勤務実績簿									
		所属機関		職		給料の特別調整額等の区分		氏 名	
命令者 検 印	勤務年月日		勤務の内容		勤務をすることが必要であった理由	勤務の開始時刻及び終了時刻	休憩等の時間数	実働時間数	週休日の振替又は4時間若しくは3時間45分の勤務時間の割振り変更が行えなかった理由 摘 要
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 週休日等（第1項の勤務） <input type="checkbox"/> 週休日等以外の日（第2項の勤務）				時 分～ 時 分	時間 分	時間 分	
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 週休日等（第1項の勤務） <input type="checkbox"/> 週休日等以外の日（第2項の勤務）				時 分～ 時 分	時間 分	時間 分	
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 週休日等（第1項の勤務） <input type="checkbox"/> 週休日等以外の日（第2項の勤務）				時 分～ 時 分	時間 分	時間 分	
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 週休日等（第1項の勤務） <input type="checkbox"/> 週休日等以外の日（第2項の勤務）				時 分～ 時 分	時間 分	時間 分	
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 週休日等（第1項の勤務） <input type="checkbox"/> 週休日等以外の日（第2項の勤務）				時 分～ 時 分	時間 分	時間 分	

注1 「勤務年月日」欄には、勤務に従事した年月日を記載するとともに、「週休日等」又は「週休日等以外の日」の別について、該当する□にレ印を付して下さい。なお、この欄において「週休日等」とは給与条例第34条の2第1項及び給与等条例第28条の2第1項に規定する週休日等をいい、「第1項の勤務」は給与条例第34条の2第1項又は給与等条例第28条の2第1項に規定する勤務を、「第2項の勤務」は給与条例第34条の2第2項又は給与等条例第28条の2第2項に規定する勤務をいいます。

2 「勤務の内容」欄には、勤務の内容を具体的に記載してください。

3 「週休日の振替又は4時間若しくは3時間45分の勤務時間の割振り変更が行えなかった理由」欄には、週休日に勤務した場合に記載してください。

様式第21（第22条関係）

管理職員特別勤務手当整理簿						
給与支給権者検印		給与期間	月分	(所属機関)		
職	氏 名	区 分		定 額(ア)	回 数(イ)	支給額(ア)×(イ) 摘 要
		第1項の勤務で勤務1回の実働時間数が4時間以上6時間以下の勤務		円	回	円
		第1項の勤務で勤務1回の実働時間数が6時間を超える勤務				
		第2項の勤務で実働時間数が2時間以上の勤務				
		合 計				
		第1項の勤務で勤務1回の実働時間数が4時間以上6時間以下の勤務				
		第1項の勤務で勤務1回の実働時間数が6時間を超える勤務				
		第2項の勤務で実働時間数が2時間以上の勤務				
		合 計				
		第1項の勤務で勤務1回の実働時間数が4時間以上6時間以下の勤務				
		第1項の勤務で勤務1回の実働時間数が6時間を超える勤務				
		第2項の勤務で実働時間数が2時間以上の勤務				
		合 計				

注1 「定額」欄には、管理職員特別勤務手当に関する規則第2条第1項及び第3条第1項に定める額を記載してください。ただし、第1項の勤務で勤務1回の実働時間数が6時間を超える勤務の場合は、その額に100分の150を乗じて得た額を記載してください。

2 この様式において「第1項の勤務」は給与条例第34条の2第1項又は給与等条例第28条の2第1項に規定する勤務を、「第2項の勤務」は給与条例第34条の2第2項又は給与等条例第28条の2第2項に規定する勤務をいいます。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

## 職員の給与の支給に関する規則の一部改正について

### 1 改正の趣旨

一般職の職員の給与に関する条例及び市町村立学校職員の給与等に関する条例(以下「給与条例等」という。)の改正に伴う所要の整備を行うもの。

### 2 改正の内容

給与条例等の改正により、管理職特別勤務手当の支給対象に平日深夜の勤務が追加されることに伴い、当該手当の支給のために記録する、管理職員特別勤務実績簿(様式第20。以下「実績簿」という。)及び管理職員特別勤務手当整理簿(様式第21。以下「整理簿」という。)の様式を改正するもの。

### 3 改正内容

#### (1) 実績簿

管理職員特別勤務手当の対象拡大に伴い、実績簿に記載すべき事項について国通知を改正。

⇒ 国の改正項目のうち、既存の様式では確認できない項目(  部分)を追加。(別紙1参照)

#### 【参考：国通知】

管理職員特別勤務手当の運用について (平成3年12月24日給実甲第688号)

【最終改正：平成27年1月30日給実甲第1187号】

規則第4条関係

- 1 各庁の長又はその委任を受けた者は、管理監督職員等又は指定職俸給表の適用を受ける職員が管理職員特別勤務(第1項の勤務又は第2項の勤務をいう。以下同じ。)を行った場合は、管理職員特別勤務に従事した職員の報告等に基づき、その都度勤務時間管理員に次に掲げる事項を管理職員特別勤務実績簿に記入させた上、自ら押印するものとする。

一 勤務に従事した年月日 **(「週休日等」又は「週休日等以外の日」の別を含む。)**

二 勤務に従事した職員の氏名

三 職員の占める官職及びその官職に係る俸給の特別調整額の区分

四 勤務の内容(「第1項の勤務」又は「第2項の勤務」の別を含む。)

五 **勤務をすることが必要であった理由**

六 勤務の開始時刻及び終了時刻

七 休憩等の時間

八 実働時間数

九 第1項の勤務にあつては、人事院規則15—14(職員の勤務時間、休日及び休暇)第6条第2項に規定する週休日の振替等が行えなかった理由

十 その他参考となる事項

#### (2) 整理簿

国通知に基づく改正項目はなし。

⇒ 実績簿の改正に伴い、平日深夜の勤務に係る区分を追加(別紙2参照)

### 4 施行期日

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

改正後

管理職員特別勤務実績簿

		所属 機関		職		給 料 の 特 別 調 整 額 等の区分		氏 名		
命令者 検 印	勤務年月日		勤務の内容		<u>勤務をすることが必要であった理由</u>	勤務の開始時刻及び 終了時刻	休憩等の時 間数	実働時間数	週休日の振替又は 4時間若しくは3 時間45分の勤務時 間の割振り変更が 行えなかった理由	摘 要
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 週休日等（第1項の勤務） <input type="checkbox"/> 週休日等以外の日（第2項の勤務）				時 分～ 時 分	時間 分	時間 分		
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 週休日等（第1項の勤務） <input type="checkbox"/> 週休日等以外の日（第2項の勤務）				時 分～ 時 分	時間 分	時間 分		
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 週休日等（第1項の勤務） <input type="checkbox"/> 週休日等以外の日（第2項の勤務）				時 分～ 時 分	時間 分	時間 分		
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 週休日等（第1項の勤務） <input type="checkbox"/> 週休日等以外の日（第2項の勤務）				時 分～ 時 分	時間 分	時間 分		
	年 月 日	<input type="checkbox"/> 週休日等（第1項の勤務） <input type="checkbox"/> 週休日等以外の日（第2項の勤務）				時 分～ 時 分	時間 分	時間 分		

- 注1 「勤務年月日」欄には、勤務に従事した年月日を記載するとともに、「週休日等」又は「週休日等以外の日」の別について、該当する□にレ印を付して下さい。なお、この欄において「週休日等」とは給与条例第34条の2第1項及び給与等条例第28条の2第1項に規定する週休日等をいい、「第1項の勤務」は給与条例第34条の2第1項又は給与等条例第28条の2第1項に規定する勤務を、「第2項の勤務」は給与条例第34条の2第2項又は給与等条例第28条の2第2項に規定する勤務をいいます。
- 2 「勤務の内容」欄には、勤務の内容を具体的に記載してください。
- 3 「週休日の振替又は4時間若しくは3時間45分の勤務時間の割振り変更が行えなかった理由」欄には、週休日に勤務した場合に記載してください。

改正前

管理職員特別勤務実績簿

		所属 機関			職		給料の特 別調整額 等の区分		氏名		
命令者検印	勤 務 年 月 日	勤 務 の 内 容	勤務の開始時刻及 び終了時刻		休 憩 等 の時間数	実 働 時 間 数	週休日の振替又は4時間若しく は3時間45分の勤務時間の割振 り変更が行えなかった理由		摘 要		
	年    月    日		時   分～ 時   分		時間   分	時間   分					
	年    月    日		時   分～ 時   分		時間   分	時間   分					
	年    月    日		時   分～ 時   分		時間   分	時間   分					
	年    月    日		時   分～ 時   分		時間   分	時間   分					
	年    月    日		時   分～ 時   分		時間   分	時間   分					

- 注1 「勤務の内容」欄には、勤務の内容を具体的に記載してください。
- 2 「週休日の振替又は4時間若しくは3時間 45 分の勤務時間の割振り変更が行えなかった理由」欄には、週休日に勤務した場合に記載してください。

改正後

管理職員特別勤務手当整理簿						
給与支給権者検印		給与期間	月分	(所属機関)		
職	氏 名	区 分	定 額 (ア)	回数(イ)	支給額(ア)×(イ)	摘 要
		第 1 項の勤務で勤務一回の実働時間数が 4 時間以上 6 時間以下の勤務	円	回	円	
		第 1 項の勤務で勤務一回の実働時間数が 6 時間を超える勤務				
		第 2 項の勤務で勤務一回の実働時間数が 2 時間以上の勤務				
		合 計				
		第 1 項の勤務で勤務一回の実働時間数が 4 時間以上 6 時間以下の勤務				
		第 1 項の勤務で勤務一回の実働時間数が 6 時間を超える勤務				
		第 2 項の勤務で勤務一回の実働時間数が 2 時間以上の勤務				
		合 計				
		第 1 項の勤務で勤務一回の実働時間数が 4 時間以上 6 時間以下の勤務				
		第 1 項の勤務で勤務一回の実働時間数が 6 時間を超える勤務				
		第 2 項の勤務で勤務一回の実働時間数が 2 時間以上の勤務				
		合 計				

注 1 「定額」欄には、管理職員特別勤務手当に関する規則第 2 条第 1 項及び第 3 条第 1 項に定める額を記載してください。ただし、勤務 1 回の実働時間数が 6 時間を超える勤務の場合は、その額に 100 分の 150 を乗じて得た額を記載してください。

2 この表において「第 1 項の勤務」は給与条例第 34 条の 2 第 3 項第 1 号及び給与等条例第 28 条の 2 第 3 項第 1 号に規定する勤務を、「第 2 項の勤務」は給与条例第 34 条の 2 第 3 項第 2 号及び給与等条例第 28 条の 2 第 3 項第 2 号に規定する勤務をいいます。

改正前

管理職員特別勤務手当整理簿						
給与支給権者検印		給与期間	月分	(所属機関)		
職	氏 名	区 分	定 額 (ア)	回数(イ)	支給額(ア)×(イ)	摘 要
		勤務 1 回の実働時間数が 4 時間以上 6 時間以下の勤務	円	回	円	
		勤務 1 回の実働時間数が 6 時 間 を 超 え る 勤 務				
		合 計				
		勤務 1 回の実働時間数が 4 時間以上 6 時間以下の勤務				
		勤務 1 回の実働時間数が 6 時 間 を 超 え る 勤 務				
		合 計				
		勤務 1 回の実働時間数が 4 時間以上 6 時間以下の勤務				
		勤務 1 回の実働時間数が 6 時 間 を 超 え る 勤 務				
		合 計				
		勤務 1 回の実働時間数が 4 時間以上 6 時間以下の勤務				
		勤務 1 回の実働時間数が 6 時 間 を 超 え る 勤 務				
		合 計				

注 「定額」欄には、管理職員特別勤務手当に関する規則第 2 条第 1 項に定める額を記載してください。ただし、勤務 1 回の実働時間数が 6 時間を超える勤務の場合は、その額に 100 分の 150 を乗じて得た額を記載してください。